



令和6年11月1日  
目黒区立ひもんや保育園長

1歳児クラスの子が戸外遊びに出かけようと自分で靴を履こうとしていました。傍で見守っていた職員が手伝おうとすると「自分で」と言っています。靴の左右が逆だったので「反対よ」と知らせると「もう！先生ちょっと待って」と言っています。「あら、そうなのごめんなさいね。靴が反対だったのよ」と職員も応えていました。そんなやり取りも面白かったので最後まで見届けてみることにしました。一生懸命足を靴に入れようとしてもすぐに脱げてしまうのですが、悪戦苦闘しながらも何度もやっているうちに急に「あっ！」と、声をあげると靴の左右を変えたのでした。その後はスムーズに履き終え「よっし、行くぞ！」と誇らしげな表情を浮かべ見守っていた職員と一緒に出かけにきました。その後姿が何だか光が差しているかのように輝いて見えました。

別の日の夕方、幼児クラスの子どもが室内に戻り始めている中、一人の子がテラスでぐるぐる回っています。「どうしたの？」と聞いてみたら「だってさ、僕お部屋に入ることわかっているのに先生が“お部屋に入るよ”って言うから知らんぷりしたくなっちゃうんだよ」と教えてくれました。その後自分のタイミングで靴を片付け帰りの支度を済ませると、スキップをしながら部屋に戻って行きました。

保育をしていると、自分でやりたかったり自分のペースでやりたかったりするんだよ、と子どもたちが教えてくれているように思う時があります。大人はつい“良かれ”と思って手伝ったり、いろいろな声をかけすぎてしまったりしがちなのかもしれません。急かさず一人ひとりの思いを尊重ながら、自分でできる力を信じてあげる関りを職員と一緒に考えていきたいと思えます。

## 11月・12月の行事

焼き芋会（全園児）  
歯科検診（全園児）  
交通安全教室（3・4・5歳児）

冬の子ども会（全園児）



## 芋掘りに行ってきました ～4・5歳児クラス～

芋掘り遠足に行ってきました。地面からつるが見えると「ここにお芋ありそうだよ」と一生懸命土を掘り「見て、こんなに穫れたよ」と連なっている芋を嬉しそうに見せ目を輝かせていました。



芋のつるで作った  
リースです。  
5歳児クラスが3、4歳  
児クラスのリースも作っ  
てくれました。



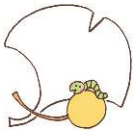
ここ掘ってみよう



森の中を  
散策もしました。



後日、芋ほりの  
様子を描きました。



# 秋の戸外遊び



## つくし組（0歳児クラス）

公園に着くと両手に石を持って滑り台やブランコ周りの柵に打ちつけて音を鳴らしています。真剣な表情で試すように鳴らしながらも時々保育士の方を見て「あっあっ！」と音が鳴ったことを声や表情などで伝えてくれます。一通り鳴らすと次は、木も叩いてみましたが、“あれ？”と不思議そうな表情をしています。滑り台やブランコの柵と同じ音が鳴ると思ったようです。音の違いに気付いた瞬間でしたが、ポクポクと鳴る音も面白かったようで笑顔で鳴らしていました。

これからも安全に留意し見守りながらも子どもの発見や楽しさに共感し、探索を楽しんでいきたいと思います。



## すずらん組（1歳児クラス）

散歩先で目に留まったものを指を差し「あっち」「いこう」と気になったほうへ歩き楽しんでいました。碑文谷公園に行った時のことです。池の前までくると、「いないな」「みえないな」と、囲いの隙間から池の中をじーっと見つめたり「先生、だっこして」と目線を変えてみたりしています。しばらく見ていると水面にスイスイと波紋が広がってきました。「何かいる」と気づいた子がその跡を目で追っています。すると、鯉が水面に顔を出しパカッと口を開けました。突然の鯉の出現に目をまん丸にして固まる子どもたちでした。「大きい魚いた」「ぱくっ」と友達や保育士に熱心に教えてくれたので、他の児も気になって池を覗いてみていました。

子どもたちがワクワク・ドキドキしたことを伝えようとする姿に耳を傾けながら、保育士も一緒に発見を楽しんでいきたいと思います。



## ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

保護者の皆さんがスズランテープで編んで頂いた持ち手のついた散歩バックを持って散歩に出かけています。公園にはどんぐりや色づいた葉っぱ、小石、虫など魅力的なものが沢山落ちています。子どもたちは少し進んで次のお気に入りを見つけ、しゃがみこんで夢中して拾っています。「どんぐりおおいよ」「（どんぐりの）ぼうし〜」と見せ合い「どこにあったの」と友達と同じものを探して見つけると、自分のどんぐりにかぶせてみえています。「ありさんとったよ」と捕まえた虫を直接バックに入れようとする姿もあります。園に戻るまでにおそらくアリは脱出していますが大事なバックに入れられたことで大満足の様です。

子どもたちの興味、関心にじっくり付き合うことを大切にし、満足できる時間をつくれるようにしていきたいと思います。一人ひとりの発見を楽しみに、これからも季節を感じながら、自然物に触れ散策していきたいと思います。

